

南海トラフ地震 えひめ事前復興推進指針

愛媛大学
理工学研究科
防災情報研究センター

教授 森脇 亮

宇和海沿岸地域

南海トラフ地震事前復興共同研究

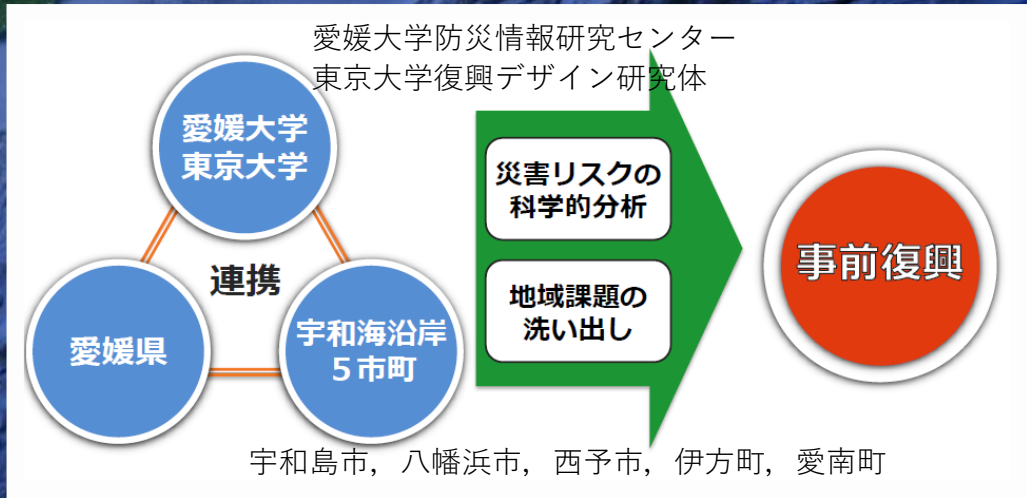
平成30年度
から3ヶ年



伊方町	9,241人
八幡浜市	33,488人
西予市	37,636人
宇和島市	75,170人
愛南町	21,902人



宇和海沿岸域
想定津波高
10m以上



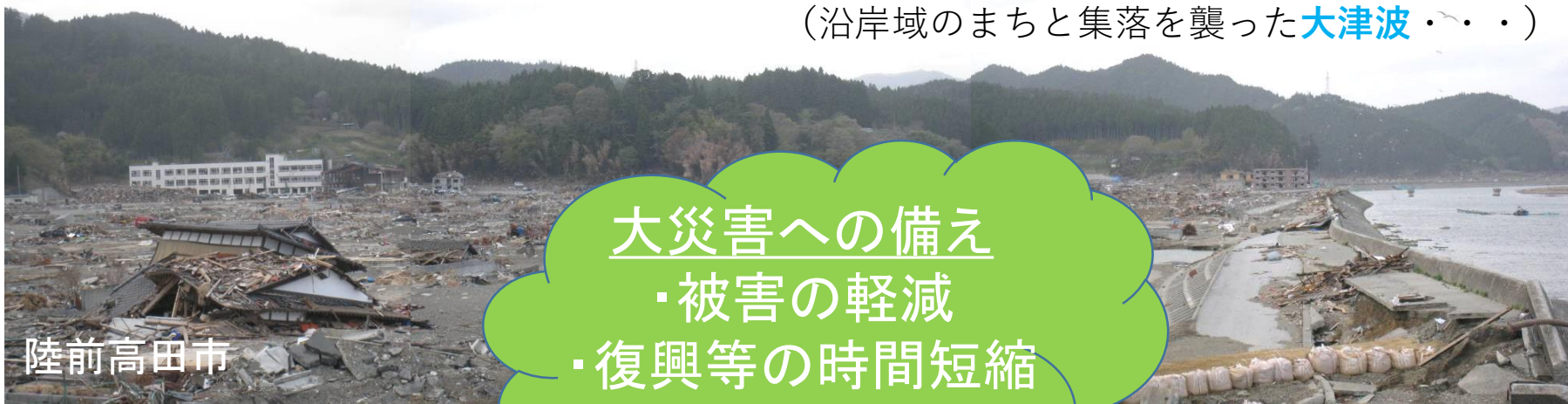
研究者
行政職員
住民(全世代)

「事前復興」

- ・過去の経験を大きく上回り地域を壊滅に追い込むような災害も想定内とする。
- ・最悪の事態に対し、復興に総合性を持たせながら迅速性と即効性を確保する。
- ・地域の災害事象や課題を把握して対策を重ね、地域の災害ダメージを軽減する。
- ・新たなまちづくりへの合意形成のプロセスを地域（行政と住民）が共有する。

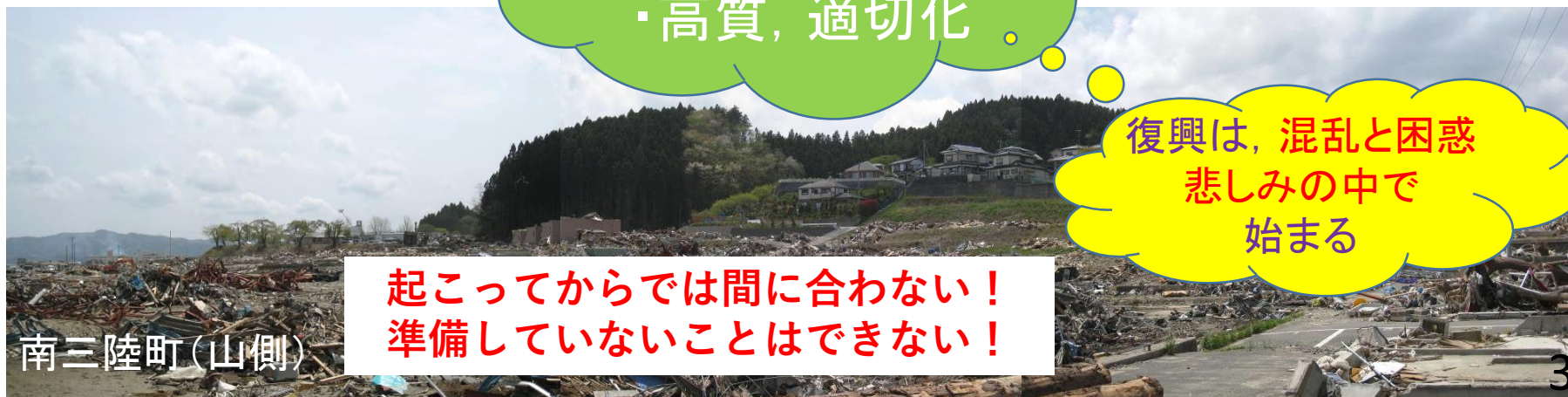
2011年 東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）

（沿岸域のまちと集落を襲った大津波・・・）



大災害への備え

- ・被害の軽減
- ・復興等の時間短縮
- ・高質，適切化

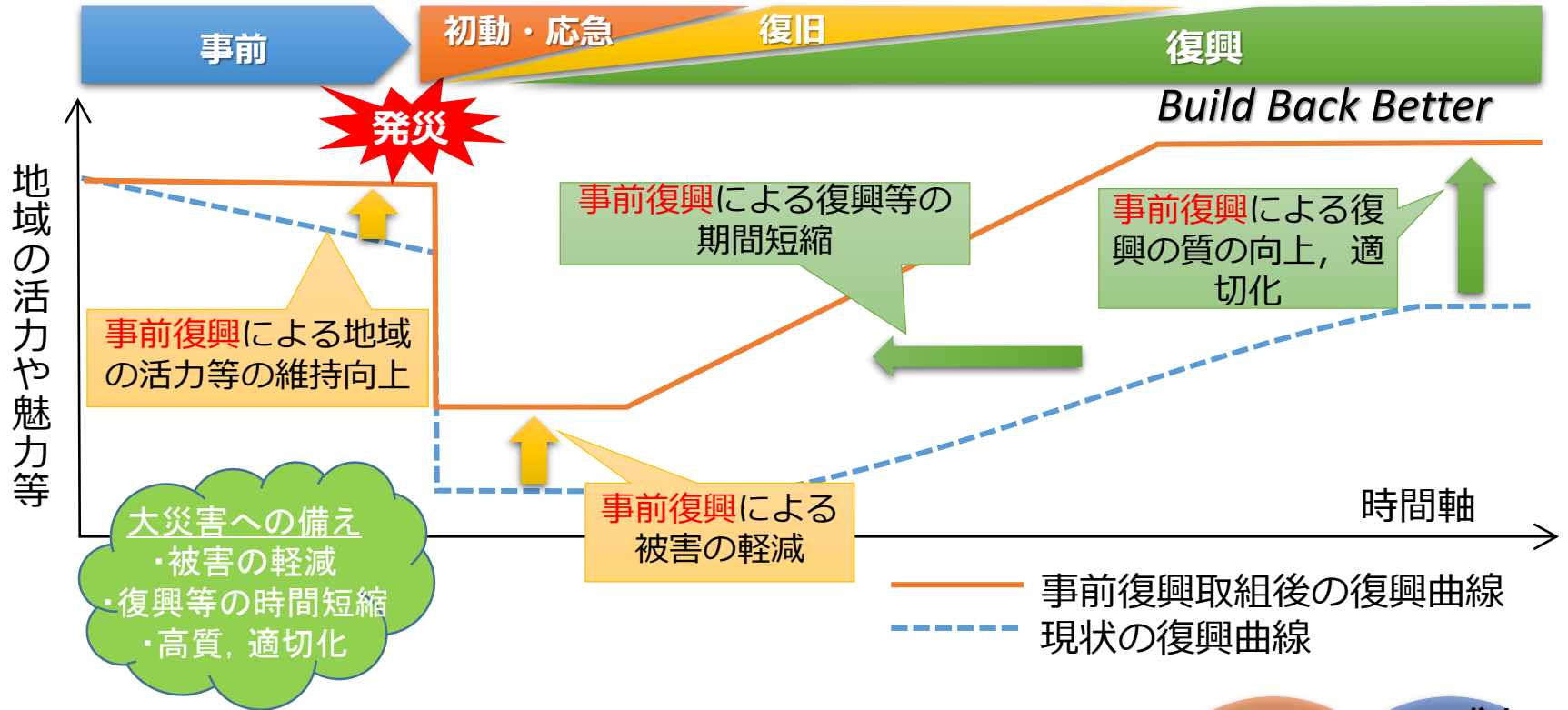


復興は、混乱と困惑
悲しみの中で
始まる

起こってからでは間に合わない！
準備していないことはできない！

南三陸町（山側）

「事前復興」の推進により粘り強い地域づくりを！

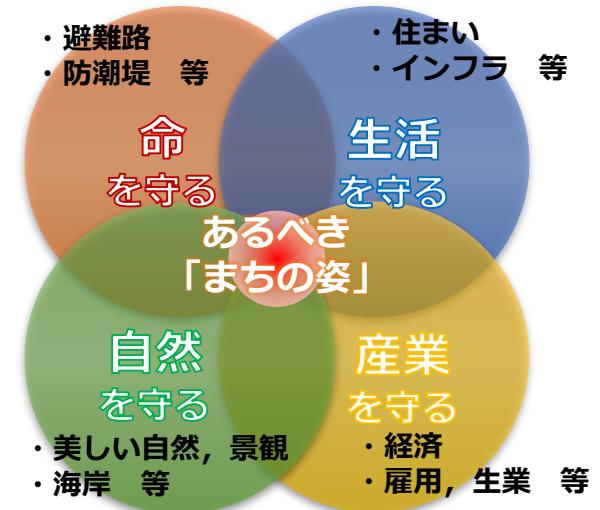


アプローチ1：復興の事前実施

- ・災害ダメージを軽減するための防災・減災の上乗せ
- ・発災後の「復興」も見越した防災まちづくり

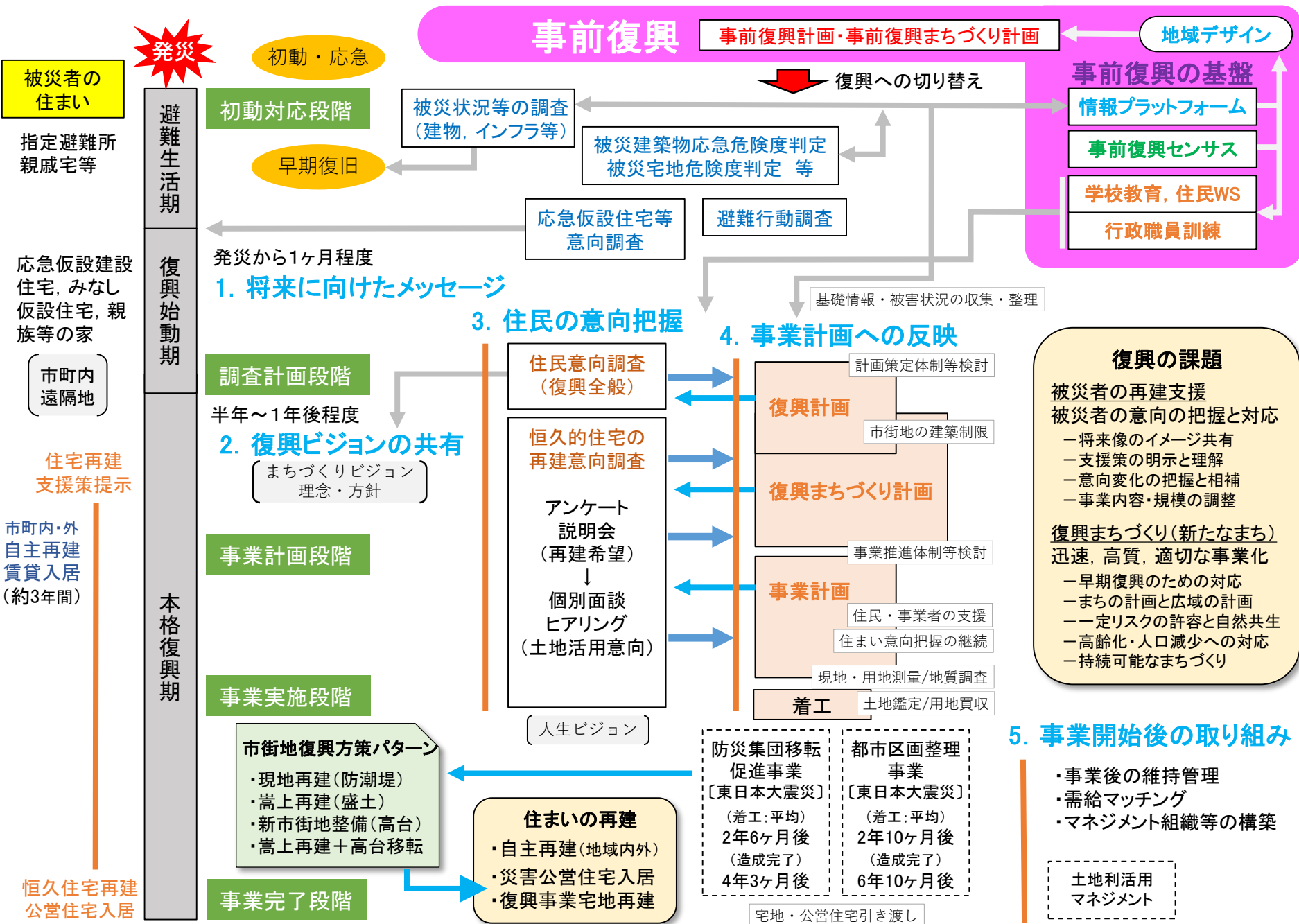
ベクトル2：復興の事前準備

- ・「復興」を総合的に実施するための行政の備え
- ・住民参加による復興イメージの事前共有



事業プロセスと復興・事前復興の基盤

※「津波被害からの復興まちづくりガイダンス」(国土交通省, 2016), 「東日本大震災による津波被害からの市街地復興事業検証委員会」(国土交通省, 2020) 委員会資料より一部を参照



新たな生活を取り戻すまでの時間

(大災害から避難した後、私たちが直面すること)

地震

※時間は目安です

発災直後
～3時間

1～7日

～2, 3ヵ月

～2年

それ以降

①
津波から
逃げる

②
救助を待つ

③
避難所等
で生活

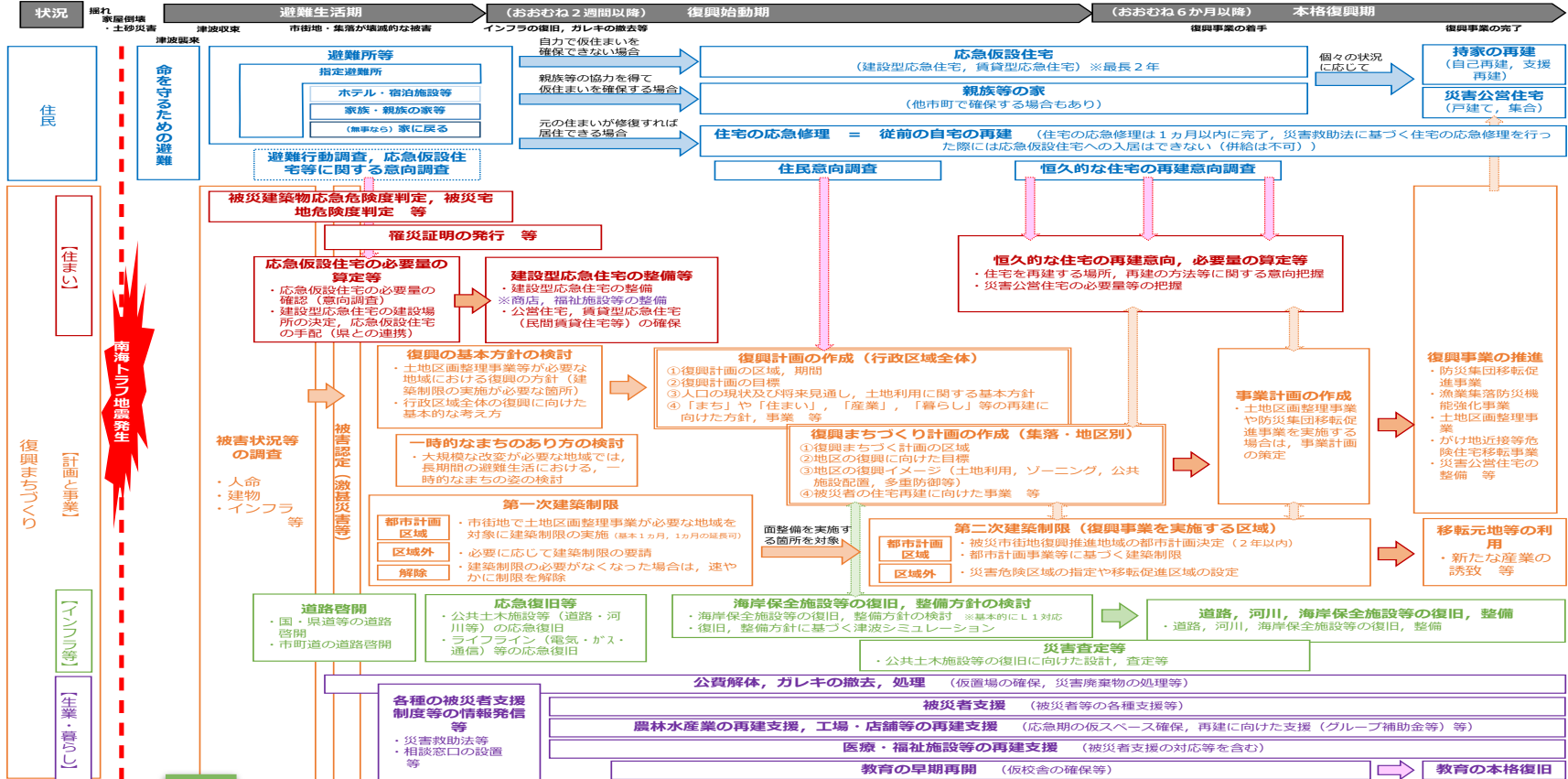
④
仮設住宅等
で生活

⑤
元の生活に
戻る
(住宅再建)



復興のプロセスと事前復興の取り組み

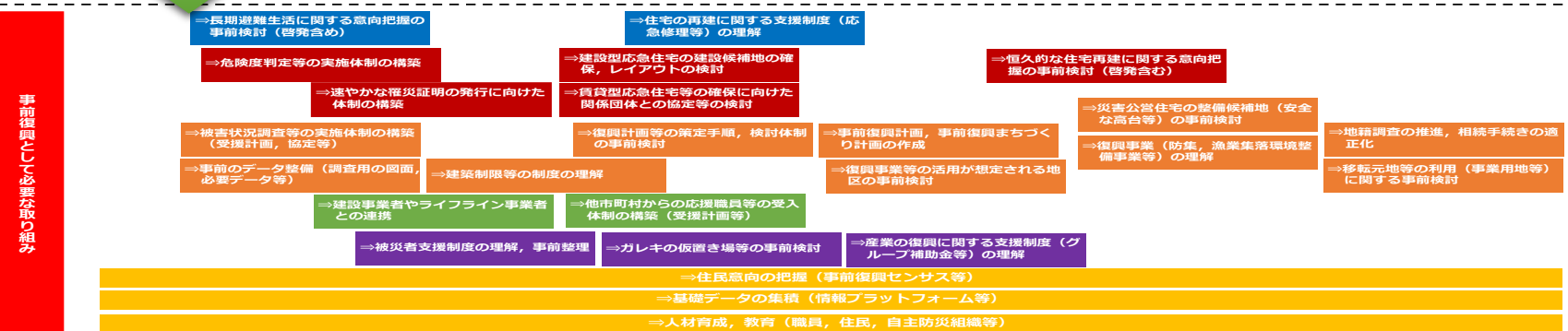
【復興のプロセス】



災害発生から復興までの時間経過に応じて必要となる、各種の調査・検討、対応等の整理を行い、事前復興として必要な取組を抽出

災害発生から復興までのプロセス

事前復興として取り組める事項



事前復興の取り組み（体系的に整理）

1. 復興手順等の理解

1-1. 復興プロセスの理解

1-2. 復興に向けた建築制限等の実施方法の理解

2. 復興体制に関する事前検討と構築

2-1. 復興を進める実施体制の事前検討

2-2. 被害状況調査等を進める体制の準備

3. 基礎データと情報の整備と分析

3-1. 各種データと情報の定期的な収集・整理

3-2. 災害リスクの想定

3-3. 現状把握と課題分析

3-4. 被災者情報等の適切な管理

3-5. システムの構築とデジタル化

4. 避難と再建に関する住民意向の調査と分析

4-1. 被災後の調査と分析に向けた準備

4-2. 被災前の調査と分析

5. 支援制度・事業制度等の理解と準備

5-1. 各種の被災者支援制度の理解と準備

5-2. 東日本大震災で活用された復興事業等の理解と準備

6. 復興イメージの事前検討

6-1. 一時的なまちの姿の検討

6-2. 避難から復興までを見据えたまちづくり計画の検討

6-3. 被災後のまちづくり計画の事前検討

7. 事前復興の教育

7-1. 人材育成・教育

「南海トラフ地震愛媛事前復興推進指針，同別冊」を公開しています。
<http://www.cee.ehime-u.ac.jp/~rd/custom7.html>

宇和海沿岸地域

南海トラフ地震事前復興共同研究

ホーム 事前復興とは 行

[トップ](#) > [研究報告](#) > [報告書](#)

報告書

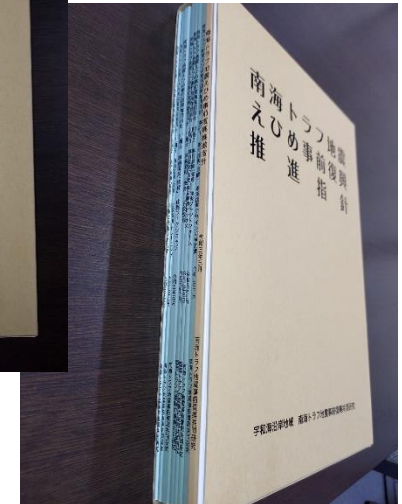
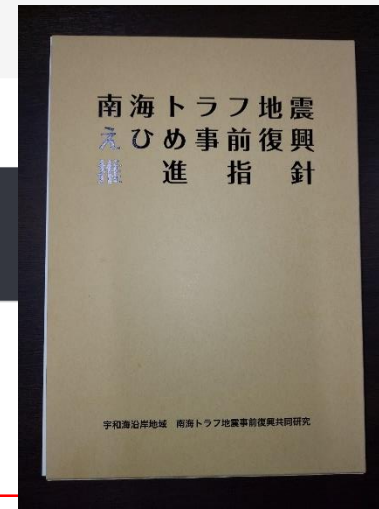
【令和2年度】3年間のまとめ

[南海トラフ地震えひめ事前復興推進指針](#)

[南海トラフ地震えひめ事前復興推進指針【概要版】](#)

別冊（資料：南海トラフ地震事前復興共同研究からの提案）

- [1. 事前復興「計画」事前復興デザインの検討集（大学生による小さな事前復興プラン）](#)
- [2. 事前復興「情報」情報プラットフォーム（基礎情報の集積と活用）](#)
- [3. 事前復興「調査」事前復興センサス（避難・生活再建意向の把握と検討事例）](#)
- [4. 事前復興「教育」学校教育（小中高校生の事前復興教育プログラムと試行事例）](#)
- [5. 事前復興「教育」住民ワークショップ（防災復興学習型WS，課題検討提案型WSの手引き）](#)
- [6. 事前復興「教育」行政職員トレーニング（行政イメージトレーニングと試行事例）](#)
- [7. 事前復興「避難」訓練と計画の手引き（留意点と取り組み）](#)



南海トラフ地震えひめ事前復興推進指針

令和3年3月

南海トラフ地震事前復興共同研究

(愛媛県・宇和島市・八幡浜市・西予市・伊方町・愛南町・愛媛大学防災情報研究センター・東京大学復興デザイン研究体)

行政職員が、事前復興に関する考え方を共有し、事前復興の必要性の理解を深め、地域住民と行政が協働した事前復興の取組を促すための指針。

事前復興を理解し、取り組みの必要性に気づく

第1部 事前復興の基礎

- ・本指針における「事前復興の定義」や、「事前復興計画」と「事前復興まちづくり計画」の位置づけ、事前復興の取り組みの必要性等、事前復興に取り組みにあたって必要な情報等を整理。

事前復興を知り、事前復興に取り組む

第2部 事前復興の取り組み

- ・「住まい」と「まちづくり(計画と事業)」の復興プロセスの検討を踏まえ、事前復興として必要な取り組みを抽出し、体系的に整理。
- ・復興プロセスのそれぞれの取り組みを解説。

事前復興の取り組みを計画に反映

計画に基づき事前復興の取り組みを計画的に実施

第3部 事前復興計画等の策定と運用

- ・本指針では、事前復興計画を「事前復興計画【復興プロセス編】」と「事前復興計画【復興ビジョン編】」、「事前復興まちづくり計画」に分類し、それぞれの策定方法等について解説。

事前復興の取り組みを通じた基盤づくり

基盤づくりによる事前復興の更なる推進

第4部 事前復興の基盤づくり

- ・事前復興の基盤づくりとして、「避難」、「情報と調査」、「教育」について、南海トラフ地震事前復興共同研究における取り組み等を含めて解説。

事前復興を進める基盤をつくる